



マルセル・ジュノーの足跡展(大竹展)

盛会裏に幕を閉じる

大竹市医師会広報担当理事
 ジュノー展(大竹展)実行委員
 荒田 敦

被爆直後の広島に貴重な医薬品を届けてくれたことで知られるマルセル・ジュノー博士については、本年も広島平和記念公園において記念祭が挙行され(六月二十日)、その後「マルセル・ジュノーの足跡展」が開催された。(七月二十一日から八月二十二日まで)

昭和二十年九月八日の、彼の医薬品輸送経路において通過点の一つとなった大竹市でも、独自の資料を追加して「マルセル・ジュノーの足跡展」(大竹展)が催された。これは、IPP



NW日本支部理事であり、ジュノー記念祭実行委員であった渡辺 晋大竹市医師会顧問を委員長とする実行委員会が企画し、主催したもので、平成十一年九月二十一日から九月二十八日まで大竹市立図書館二階「ギャラリー大竹」において開催された。共催のドクター・ジュノー研究会のほか、大竹市・大竹市教育委員会、大竹市医師会、大竹市歯科医師会、大竹市薬剤師会、大竹市社会福祉協議会、大竹市文化協会の後援を受けた。

マルセル・ジュノー博士は、広島に原子爆弾が投下された三日後の昭和二十年八月九日に赤十字国際委員会駐日首席代表として来日した。被爆者の治療に必要な医薬品約十五トンを調達した後、厚木飛行場から空路岩国基地に到着し(九月八日)、岩国からは陸路広島県入りし(即ち大竹を経由して)宮島に宿泊している。九月九日以後は、松永 勝先生(福山市三吉町)の記載によれば、宿泊地宮島から広島に出かけて



の精力的な視察あるいは診療、指導を五日間続けたとある。しかも、その間の大部分を電車や民間のオート三輪・トラックを利用しての強行軍であったことが生々しく記されている。【広島県医師会速報一六九二号(平成十一年七月五日号、十〜十二頁)より引用】

マルセル・ジュノーの足跡展(大竹展)実行委員会では、先の広島での「マルセル・ジュノー足跡展」での出品の他に渡辺 晋委員長所蔵の書籍等数点を加えて展示し、広く山口県東

部地区にも印刷物を配布するなどして、岩国大竹地区でのジュノー博士の足跡等に関する情報提供を呼び掛けた。この結果、八日間の期間中に訪れ、記帳した人数は四百八十六名に達し、遠く宇部市(山口県)からの来場者もみられた。観覧した人の関心を集めた展示品は、「ジュノー博士の年史」、「ICRC(赤十字国際委員会)としての活動」、「ジュノー博士・極東への道」、「九月八日の足跡」、「ジュノー博士・六日間の足跡」、「十五トンの医薬品から」等であったが、博士からの医薬品を使用し治療に当たった当時の医療スタッフの感想などで編集された映画も強い感動を与えたようであった。

予想を上回る反響がみられたことに対しては、原子爆弾被爆に対する怖れがまだ根強いこと、ジュノー博士の足跡に対して改めて親近感を抱いたこと、関係者による積極的な宣伝活動等の要因があげられるが、近隣医師会の協力が得られたこと、多くの方々のボランティア活動に支えられたことも見逃せないであろう。大竹地区における「ジュノー博士に関する研究」は、緒についてばかりと言えるが、渡辺 晋実行委員長を中心に十分な成果が実ることを期待するものである。

コンピュータ西暦2000年問題に関する緊急アンケートの提出について(依頼)

日本医師会はコンピュータ西暦2000年問題(以下、Y2K問題)を確実に乗り切り、国民の医療に対する信頼を確固たるものにすべく、本年9月中旬、Y2K緊急対策として、全A1会員を対象とした「Y2K対応に関する緊急アンケート」を実施しております。

この調査の投函締め切りは10月1日でしたが、回答率は約58%と低く、10月1日、日本医師会で開催された「都道府県医師会情報システム担当理事連絡協議会」(詳細は、県医師会速報第1702号・平成11年10月15日参照)における報告のとおり、指摘されてきた医療分野のY2K対応の遅れに関する不安感を払拭し得る集計結果でありませんでした。

この件について、日本医師会より、「この調査の回答率を100%とし、国民の医療分野に対する信頼を確固たるものとするため、アンケートの未回答会員の方々へ提出していただけるよう依頼していただきたい」との要請がまいっております。

つきましては、まだご提出いただけない会員の先生方には、アンケート用紙のご提出をよろしくお願い致します。

紹介先

広島県医師会 事務局

電話 082(232)7211 F A X 082(293)3363

E-mail y2k@hiroshima.med.or.jp

担当 大畑(事務局長)

中元(総合医療情報センター室長)

(おことわり)

アンケートの締切日まであまり期間がございませんので、県医師会にてFAX番号がわかる会員の先生方へはFAXにてお送りしております。ご了承の程、よろしくお願い致します。